



第52回那覇ハーリー

晴天に恵まれた5月3日(土)、第52回那覇ハーリーが開催され、本校からは中学生の部に男子1チーム、女子2チームの計3チームが参加しました。当日は空こそ青く澄み渡っていましたが、海上は強い風の影響で波がやや高く、櫂(かい)を懸命に入れても思うように前に進めない、たいへん厳しいコンディションの中でのレースとなりました。流されそうになる船体を必死に立て直しながら、どのチームも最後まで力を出し切ろうと、声を掛け合い、呼吸を合わせ、根気強く櫂を動かし続ける姿がとても印象的でした。男子チームの粘り強い漕ぎ、女子チームの仲間を信じて息をそろえた漕ぎは、結果以上に心を打つものでした。思うような結果を残すことはできませんでしたが、厳しい自然条件の中でも決して諦めず、仲間とともに最後まで挑戦し続けた経験は、生徒たちにとって何にも代えがたい大きな学びとなったことと思います。うまくいかない状況だからこそ、声を掛け合うことの大切さ、助け合うことの意味、そして最後までやり抜く強さを実感できたのではないのでしょうか。那覇ハーリーに向けて積み重ねてきた練習の日々、そして本番で味わった悔しさや達成感は、これからの学校生活やさまざまな場面で必ず生かされていくはずです。目には見えませんが、挑戦を通して培われた協調性、忍耐力、仲間を思いやる心は、生徒一人一人の中に確かに根付いたことでしょう。結果にとらわれず、最後まで全力で挑み抜いた3チームの姿に、大きな拍手を送りたいと思います。困難な状況の中でも一歩前へ進もうとした経験を胸に、これからの成長に大いに期待が膨らむ、意義深い那覇ハーリーとなりました。

未来創造

那覇市立
仲井真中学校
学校便り
第6号
校長：山田泰之

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



第30回国場川こいのぼりまつり

5月11日(日)に、第30回国場川こいのぼりまつりが、「少年に夢を、青年に希望を、お年寄りに誇りを・・・そんな街に住みたい！」をテーマに開催されました。記念すべき第30回となる今年は、初めて本校仲井真中学校の体育館を会場として行われ、多くの地域の方々で賑わいを見せました。まつりの運営にあたっては、本校の中学生ボランティアが準備や片付け、司会などの進行役として参加し、まつりを裏方からしっかりと支えていました。一人一人が自分の役割を理解し、声を掛け合いながら主体的に動く姿は、大変頼もしく感じられました。地域行事を支える経験を通して、責任感や協力することの大切さを学ぶ機会となったことでしょう。体育館の舞台では、各団体による発表が行われ、本校からは吹奏楽・合唱部が出演しました。これまでの練習の成果を存分に発揮し、息の合った素晴らしい演奏・歌声を披露すると、会場からは大きな拍手が送られました。音楽を通して地域の方々と心を通わせる、温かなひとときとなりました。その他にも本校生徒は、チアダンス、ストリートダンス等にも出演していました。今回のこいのぼりまつりへの参加は、地域に支えられている学校として、地域に貢献する喜びや意義を実感する貴重な機会となりました。今後もこのような行事を通して、地域とともに歩み、進んで社会に関わろうとする生徒の育成を大切にしていきたいと思ひます。

